

2022年(令和4年)下期 景気動向調査結果

和歌山商工会議所

～ コロナの影響は減少！売上は増加するも、
仕入れ・原材料単価、エネルギー価格高騰で収益は減少 ～

- 目 的 : 当地域における景気実態を把握するとともに、当商工会議所事業活動の指針とする。
- 調査対象期間 : 2022年7月1日から2022年12月31日(2022年(令和4年)下期)
- 調査実施期間 : 2022年12月26日から2023年1月31日
- 調査方法 : 郵送によるアンケート方式
- 調査対象 : 常議員・議員・部会副部会長・女性会・青年部・商工振興委員 530事業所
- 回答数 : 回収数 181 (回収率 34.2%)

従業員数		0～5人	6～20人	21～50人	51～100人	101人以上	合計
業 種	製造業	7	15	8	8	16	54
	建設業	2	6	4	1	4	17
	小売業	12	2	4	0	2	20
	卸売業	12	5	6	3	3	29
	サービス業	19	9	6	5	8	47
	その他業	3	2	0	1	8	14
合 計		55	39	28	18	41	181

● 概 要

2022年下期(7月～12月)の景況感は、主要指標である業況、売上、採算の各DI値を見ると、製造業では業況DI値、売上DI値とも改善となったが、採算は大幅に悪化した。売上DI値の改善要因としては、コロナ禍からの回復や原材料単価の高騰に伴う売上価格の上昇が挙げられた。非製造業では、売上DI値は改善傾向にあるものの、その動きは小さく、業況DI値、採算DI値はともに悪化し、特に採算DI値の悪化幅が大きく、その要因として「原材料価格、エネルギー価格の高騰」や「配送コストの増加」等の回答が多く挙げられ、製造業、非製造業とも原材料やエネルギー価格の上昇分を価格転嫁により対応を図るも、適正価格での取引難や顧客離れの懸念もあり、十分に価格転嫁が進まず、採算性が低下する厳しい状況が伺える。

直面する課題(10ページ)として、非製造業のその他業を除き課題のトップは「仕入れ・原材料単価の上昇」が最も多く挙げられた。製造業では、次いで「従業員・熟練技術者の確保難」が挙げられ、上位の課題として前期同様に「燃料費(電気料金を含む)の高騰」が挙げられた。非製造業のうち、建設業は、「従業員・熟練技術者の確保難」「需要の停滞」、小売業は、「需要の停滞」「製品ニーズの変化への対応」「従業員・熟練技術者の確保難」「燃料費(電気料金を含む)の高騰」、卸売業は、「需要の停滞」「燃料費の高騰」が挙げられ、今期、建設業、小売業で「コロナの影響」が上位の課題から姿を消した。サービス業は、「人件費の増加」「従業員・熟練技術者の確保難」「コロナの影響」、その他業は、「燃料費の高騰」が最も多く、次いで「価格への転嫁難」「人件費の増加」「コロナの影響」が挙げられた。

先行きについては、製造業、非製造業とも景況感は、「原材料費の高騰やエネルギー価格の高騰」等により悪化の見通しが示された。非製造業の上期(令和4年6月)では「海外の景気回復」や「コロナ禍の段階的収束想定」等により改善の見通しが示されていたが、今回の見通しでは製造業、非製造業ともに、コロナ感染症の影響は減少しつつも、「仕入単価、材料費の高騰による収益の悪化」、「エネルギー単価の上昇」、「部品等の納期遅延や価格転嫁難」等、懸念材料が払拭できない厳しい状況は継続しており、今後も景気動向について、注視していく必要がある。

皆様から寄せられた企業、業界の取組み(抜粋)

●製造業

- ・高付加価値商品の開発
- ・カーボンニュートラル
- ・BCP策定
- ・人材育成、業態改善
- ・デジタル化(DX)による生産性の向上
- ・SDGs

●非製造業

- ・営業強化、構造改革
- ・人材育成、人材確保
- ・生産性の向上
- ・デジタル化(DX)の推進
- ・既存事業の強化・拡大、新規事業への参入
- ・商品力やサービスの向上

※「DI値」とは

デフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、景気動向を示す指標。「好転(やや好転を含む)」、「増加(やや増加を含む)」、「上昇(やや上昇を含む)」したとする企業割合から、「悪化(やや悪化を含む)」、「減少(やや減少を含む)」、「低下(やや低下を含む)」したとする企業割合を差引いた値。

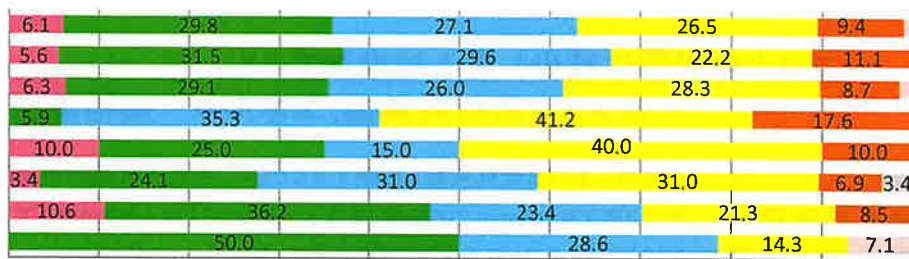
【業況DI値】

今期(2022年7月～12月)のDI値

全業種	(今期 0.0 前期比 ▲2.3)
製造業	(今期 3.7 前期比 0.1)
非製造業	(今期 ▲1.6 前期比 ▲3.3)
建設業	(今期 ▲52.9 前期比 ▲22.9)
小売業	(今期 ▲15.0 前期比 ▲10.2)
卸売業	(今期 ▲10.3 前期比 7.9)
サービス業	(今期 17.0 前期比 ▲8.0)
その他業	(今期 35.7 前期比 18.1)

(業況)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

今期(2022年7月～12月)の状況

製造業で3.7(前期比0.1)、非製造業で▲1.6(前期比▲3.3)、全業種で0.0(前期比▲2.3)となり、製造業ではプラス値となり、非製造業では、サービス業、その他業でプラスとなるも全体としてはマイナス域に転じた。

製造業では「原材料価格の高騰」「資材不足」や「受注減少」等の要因もあり、悪化している事業所もあるが「コロナの影響」が減少したことにより好転している事業所もあり、プラス値となった。非製造業を業種別にみるとサービス業、その他業では、「入国緩和や新型コロナウイルスの影響からの回復」等の理由が好転要因として挙げられた一方、建設業、小売業、卸売業では、「仕入単価、材料費の高騰や原油高」「人員不足、製品の入荷遅延」に加え、依然として「新型コロナウイルス感染症による影響」等も悪化要因に挙げられ、非製造業全体としては、マイナスとなった。

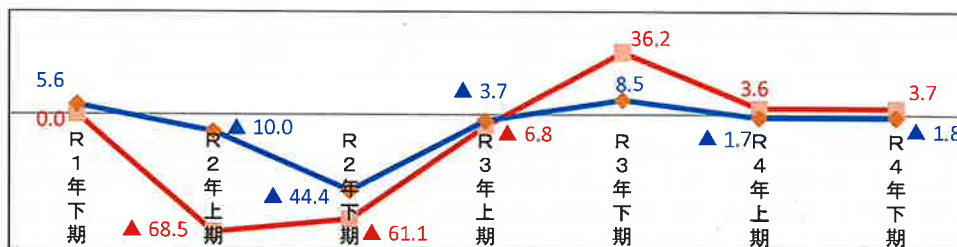
※前期比とは、前回調査(令和4年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

■今期のDI値

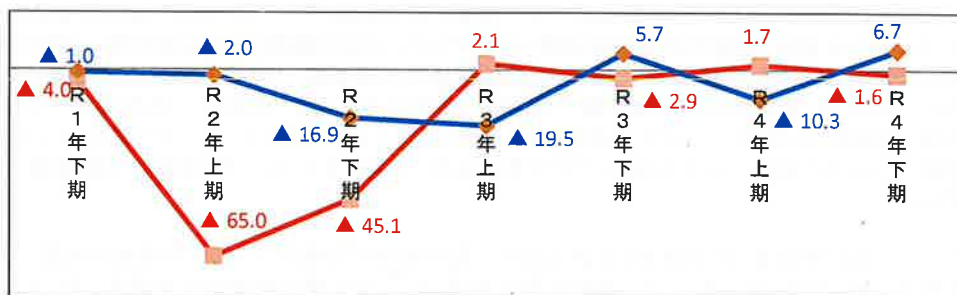
■前期調査時点での今期見通し



非製造業

■今期のDI値

■前期調査時点での今期見通し

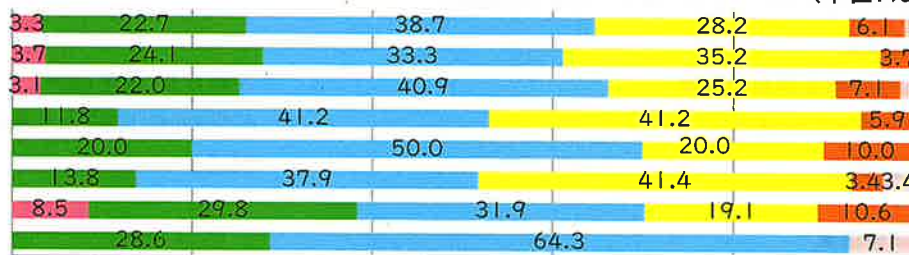


来期(2023年1月～6月)の見通しDI値

全業種	(見通し ▲8.3 今期比 ▲8.3)
製造業	(見通し ▲11.1 今期比 ▲14.8)
非製造業	(見通し ▲7.1 今期比 ▲5.5)
建設業	(見通し ▲35.3 今期比 17.6)
小売業	(見通し ▲10.0 今期比 5.0)
卸売業	(見通し ▲31.0 今期比 ▲20.7)
サービス業	(見通し 8.5 今期比 ▲8.5)
その他業	(見通し 28.6 今期比 ▲7.1)

(業況)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

今期と比較した来期(2023年1月～6月)の見通し

今期と比較した来期見通しDI値は、製造業では▲14.8ポイント悪化の▲11.1、非製造業では▲5.5ポイント悪化の▲7.1、全業種で▲8.3ポイント悪化の▲8.3と見通している。製造業の悪化、やや悪化要因として、「材料単価の値崩れ」、「案件の減少、コロナ対策事業が終息」、「販売不振」等が挙げられた。非製造業のサービス業、その他業では、今期と同様「インバウンドへの期待や新型コロナウイルスの影響からの回復」等の理由が好転要因として挙げられた一方、建設業、小売業、卸売業では、「原材料の高騰」や「円安」「納期遅れ」等が、悪化要因として挙げられた。

【売上DI値】

今期(2022年7月～12月)のDI値

(売上)

(単位:%)

全業種	(今期 17.7 前期比 1.2)
製造業	(今期 24.1 前期比 2.7)
非製造業	(今期 15.0 前期比 0.8)
建設業	(今期 ▲11.8 前期比 ▲11.8)
小売業	(今期 10.0 前期比 24.3)
卸売業	(今期 10.3 前期比 1.2)
サービス業	(今期 21.3 前期比 ▲16.2)
その他業	(今期 42.9 前期比 25.3)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

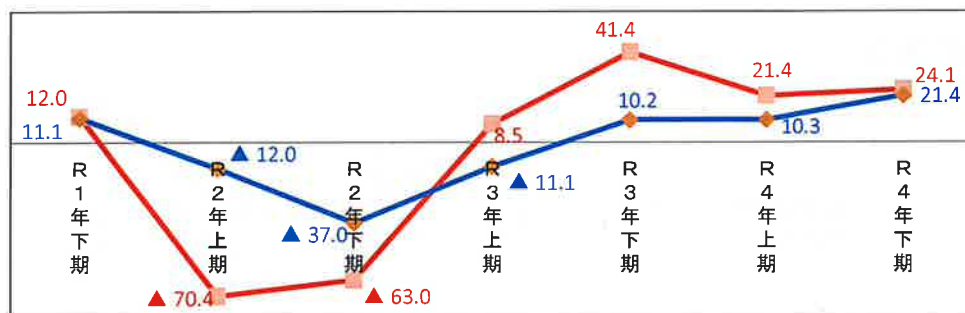
今期(2022年7月～12月)の状況

売上DI値は、製造業で24.1(前期比2.7)、非製造業で15.0(前期比0.8)、全業種で17.7(前期比1.2)となり、製造業、非製造業では建設業を除きプラスとなった。増加、やや増加要因としては、製造業、非製造業とも仕入価格の上昇分を転嫁したことによる受上の増加やコロナ禍からの需要の回復が多く挙げられた。非製造業の中で建設業のみ前期比、今期ともマイナスの悪化となったが、減少、やや減少要因として、「原材料の高騰、納期遅れ」や「価格高騰による受注の減少」等が挙げられた。

※前期比とは、前回調査(令和4年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

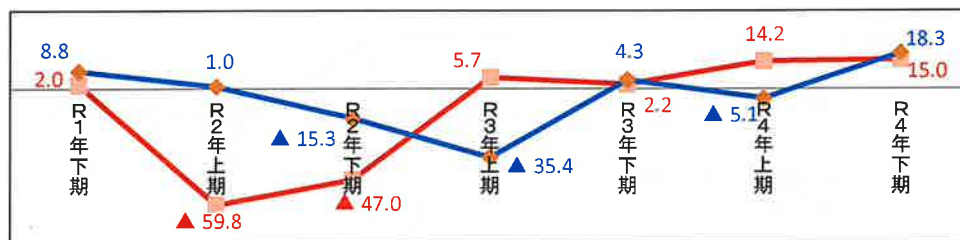
DI値の推移 製造業

■ 実際のDI値
■ 前期調査時点での今期見通し



非製造業

■ 実際のDI値
■ 前期調査時点での今期見通し



来期(2023年1月～6月)の見通しDI値

全業種	(見通し ▲0.6 今期比 ▲18.2)
製造業	(見通し 1.9 今期比 ▲22.2)
非製造業	(見通し ▲1.6 今期比 ▲16.5)
建設業	(見通し ▲5.9 今期比 5.9)
小売業	(見通し ▲20.0 今期比 ▲30.0)
卸売業	(見通し ▲31.0 今期比 ▲41.4)
サービス業	(見通し 14.9 今期比 ▲6.4)
その他業	(見通し 35.7 今期比 ▲7.1)

(売上)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

今期と比較した来期(2023年1月～6月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で▲22.2ポイント悪化の1.9、非製造業で▲16.5ポイント悪化の▲1.6、全業種で▲18.2ポイント悪化の▲0.6と見通している。製造業で来期はプラスと見通しているが、非製造業では、サービス業、その他業でプラスとなるも「原材料価格の高騰」「価格高騰のあおり」や「人員不足」等を要因に全体ではマイナスとなり、「コロナ禍の段階的収束想定」への期待よりも、売上減少の見通しが示された。

今期(2022年7月~12月)のDI値

(採算)

(単位:%)

全業種	(今期 ▲19.3 前期比 ▲17.8)
製造業	(今期 ▲27.8 前期比 ▲18.9)
非製造業	(今期 ▲15.7 前期比 ▲10.7)
建設業	(今期 ▲41.2 前期比 ▲16.2)
小売業	(今期 ▲15.0 前期比 ▲5.5)
卸売業	(今期 ▲27.6 前期比 ▲0.3)
サービス業	(今期 ▲4.3 前期比 ▲11.8)
その他業	(今期 0.0 前期比 ▲23.5)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期(2022年7月~12月)の状況

採算DI値は、製造業で▲27.8(前期比▲18.9)、非製造業で▲15.7(前期比▲10.7)、全業種で▲19.3(前期比▲17.8)となった。製造業、非製造業ともマイナスとなり、悪化、やや悪化した要因として、「原材料価格、エネルギー価格の高騰」や「配送コストの増加」等により、売上は増加するも採算は悪化との回答が多く挙げられ、また新型コロナウイルス感染症による影響やコロナの長期化が悪化要因との回答も依然として見受けられた。

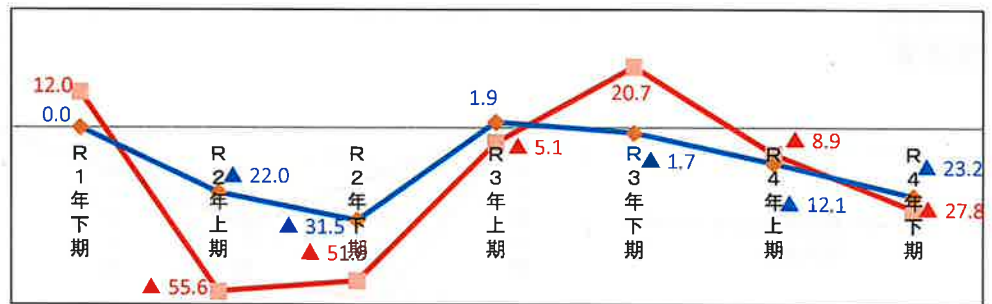
※前期比とは、前回調査(令和4年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

—■— 実際のDI値

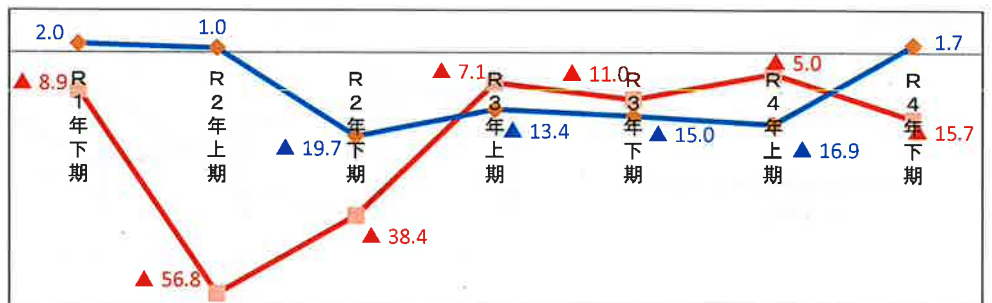
—●— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

—■— 実際のDI値

—●— 前期調査時点での今期見通し

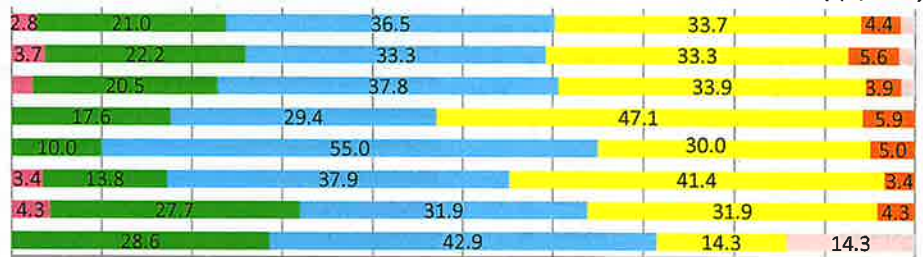


来期(2023年1月~6月)の見通しDI値

(採算)

(単位:%)

全業種	(見通し ▲14.4 今期比 5.0)
製造業	(見通し ▲13.0 今期比 14.8)
非製造業	(見通し ▲15.0 今期比 0.8)
建設業	(見通し ▲35.3 今期比 5.9)
小売業	(見通し ▲25.0 今期比 ▲10.0)
卸売業	(見通し ▲27.6 今期比 0.0)
サービス業	(見通し ▲4.3 今期比 0.0)
その他業	(見通し 14.3 今期比 14.3)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期と比較した来期(2023年1月~6月)の見通し

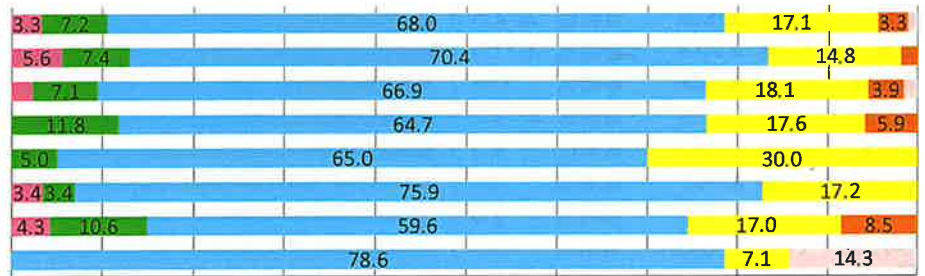
今期と比較した来期見通しDI値は、製造業で14.8ポイント改善の▲13.0、非製造業で0.8ポイント改善の▲15.0、全業種で5.0ポイント改善の▲14.4と見通している。製造業、非製造業とも、来期見通しDI値は依然としてマイナス域にとどまっており、「価格転嫁額を上回る仕入価格、原材料費の高騰」「円安」等を理由として、採算の回復については、厳しい見通しとなった。非製造業の前期調査時点での見通しDI値は、2年ぶりにプラス値であったが、来期見通しDI値は、「原材料費やエネルギー価格の高騰」等を要因としてマイナスに転じる結果となった。

今期（2022年7月～12月）のDI値

（資金繰り）

（単位：%）

全業種	（今期 ▲ 9.9	前期比 ▲ 7.6）
製造業	（今期 ▲ 3.7	前期比 ▲ 7.3）
非製造業	（今期 ▲ 12.6	前期比 ▲ 7.6）
建設業	（今期 ▲ 11.8	前期比 ▲ 1.8）
小売業	（今期 ▲ 25.0	前期比 ▲ 15.5）
卸売業	（今期 ▲ 10.3	前期比 7.9）
サービス業	（今期 ▲ 10.6	前期比 ▲ 13.1）
その他業	（今期 ▲ 7.1	前期比 ▲ 13.0）



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期（2022年7月～12月）の状況

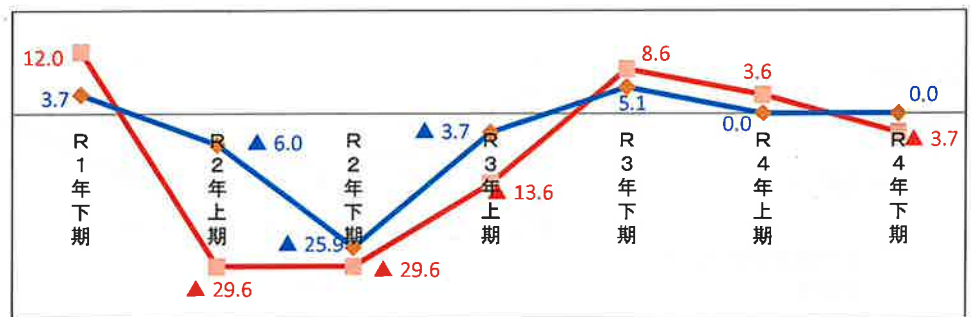
資金繰りDI値は、製造業で▲3.7（前期比▲7.3）、非製造業で▲12.6（前期比▲7.6）、全業種で▲9.9（前期比▲7.6）となった。製造業では、マイナス域に転じ、非製造業では、小売業のみ前期比プラスとなるも全業種で前期比ともマイナスとなり、コロナ禍から資金繰りはマイナス域を脱せず厳しい状況が続いている。

※前期比とは、前回調査（令和4年6月実施）のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

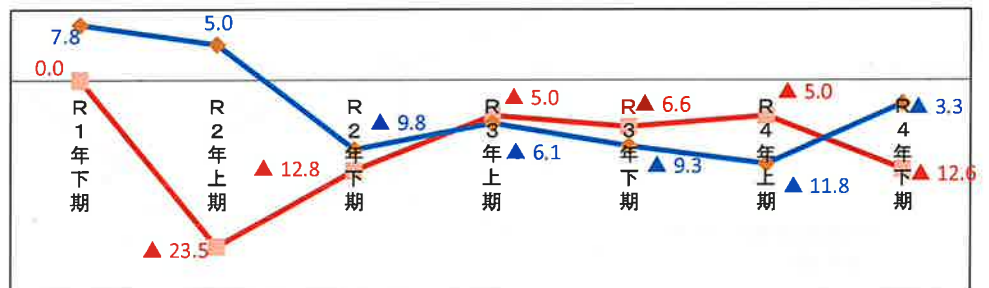
製造業

— 実際のDI値
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値
— 前期調査時点での今期見通し

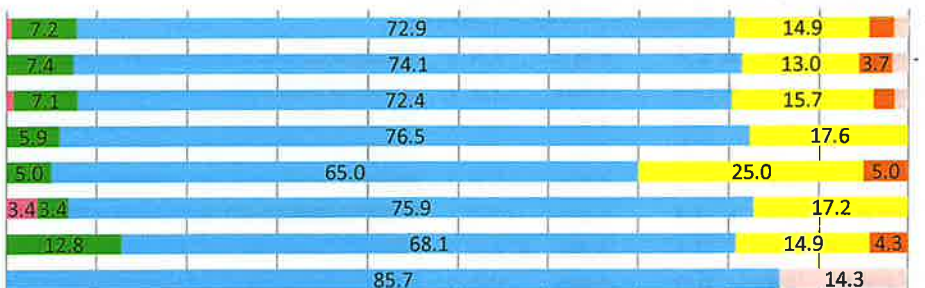


来期（2023年1月～6月）の見通しDI値

（資金繰り）

（単位：%）

全業種	（見通し ▲ 9.9	今期比 0.0）
製造業	（見通し ▲ 9.3	今期比 ▲ 5.6）
非製造業	（見通し ▲ 10.2	今期比 2.4）
建設業	（見通し ▲ 11.8	今期比 0.0）
小売業	（見通し ▲ 25.0	今期比 0.0）
卸売業	（見通し ▲ 10.3	今期比 0.0）
サービス業	（見通し ▲ 6.4	今期比 4.3）
その他業	（見通し 0.0	今期比 7.1）



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期と比較した来期（2023年1月～6月）の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で▲5.6ポイント悪化の▲9.3、非製造業で2.4ポイント改善の▲10.2、全業種で▲9.9と見通している。製造業では今期比ともマイナスの悪化の見通しとなり、非製造業では今期比プラスとなるも、その他業を除き悪化の見通しとなり、全体として、資金繰りは厳しい見通しとなった。

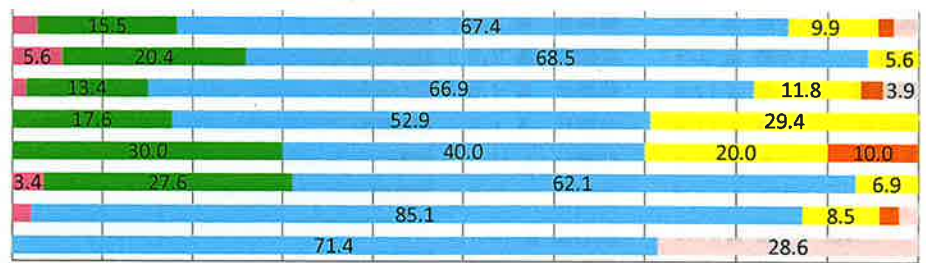
【在庫DI値】

今期(2022年7月~12月)のDI値

(在庫)

(単位:%)

全業種	(今期 ▲ 6.6	前期比 ▲ 2.6)
製造業	(今期 ▲ 20.4	前期比 ▲ 11.5)
非製造業	(今期 ▲ 0.8	前期比 0.9)
建設業	(今期 11.8	前期比 ▲ 13.2)
小売業	(今期 0.0	前期比 9.5)
卸売業	(今期 ▲ 24.1	前期比 3.2)
サービス業	(今期 8.5	前期比 6.0)
その他業	(今期 0.0	前期比 0.0)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期(2022年7月~12月)の状況

在庫DI値は、製造業で▲20.4(前期比▲11.5)、非製造業で▲0.8(前期比0.9)、全業種で▲6.6(前期比▲2.6)となった。製造業では、前期比ともマイナスとなり在庫の過剰傾向が続いており、非製造業では前期比プラスとなり改善が見受けられるが、マイナス域を脱しておらず、とりわけ卸売業のみマイナスとなり、全体としてやや過剰傾向が見受けられた。

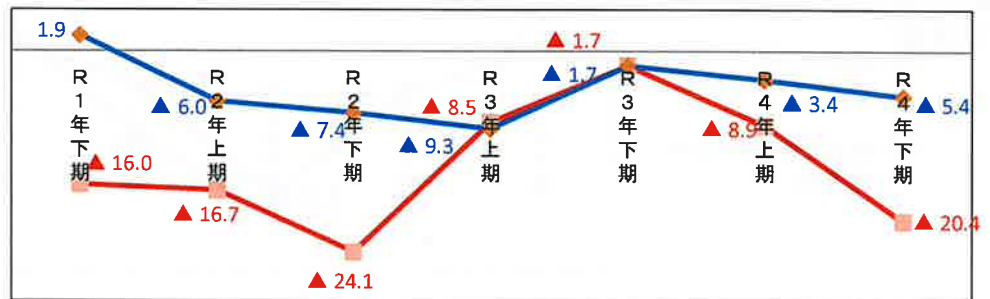
※前期比とは、前回調査(令和4年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

■ 実際のDI値

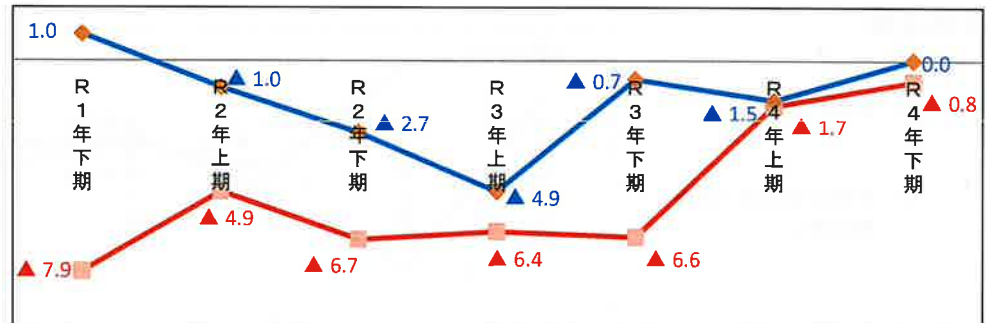
■ 前期調査時点での今期見通し



非製造業

■ 実際のDI値

■ 前期調査時点での今期見通し

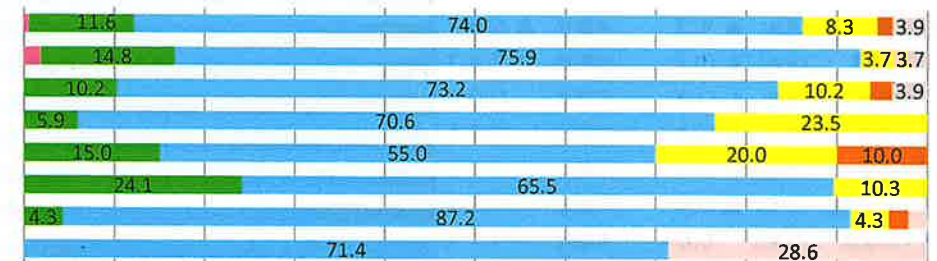


来期(2023年1月~6月)の見通しDI値

(在庫)

(単位:%)

全業種	(見通し ▲ 2.2	今期比 4.4)
製造業	(見通し ▲ 13.0	今期比 7.4)
非製造業	(見通し 2.4	今期比 3.1)
建設業	(見通し 17.6	今期比 5.9)
小売業	(見通し 15.0	今期比 15.0)
卸売業	(見通し ▲ 13.8	今期比 10.3)
サービス業	(見通し 2.1	今期比 ▲ 6.4)
その他業	(見通し 0.0	今期比 0.0)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期と比較した来期(2023年1月~6月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で7.4ポイント改善の▲13.0、非製造業で3.1ポイント改善の2.4、全業種で4.4ポイント改善の▲2.2と見通している。製造業では、今期比プラスとなるも見通しはマイナスとなり過剰傾向、非製造業全体ではプラスとなったが、業種別では、今期と同様に卸売業ではマイナスとなり、過剰傾向が続く見通しとなった。

今期(2022年7月～12月)のDI値

(仕入単価)

(単位:%)

全業種	(今期 ▲77.9	前期比 2.8)
製造業	(今期 ▲85.2	前期比 13.0)
非製造業	(今期 ▲74.8	前期比 ▲2.3)
建設業	(今期 ▲94.1	前期比 0.9)
小売業	(今期 ▲70.0	前期比 6.2)
卸売業	(今期 ▲79.3	前期比 11.6)
サービス業	(今期 ▲70.2	前期比 ▲5.2)
その他業	(今期 ▲64.3	前期比 ▲29.0)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

今期(2022年7月～12月)の状況

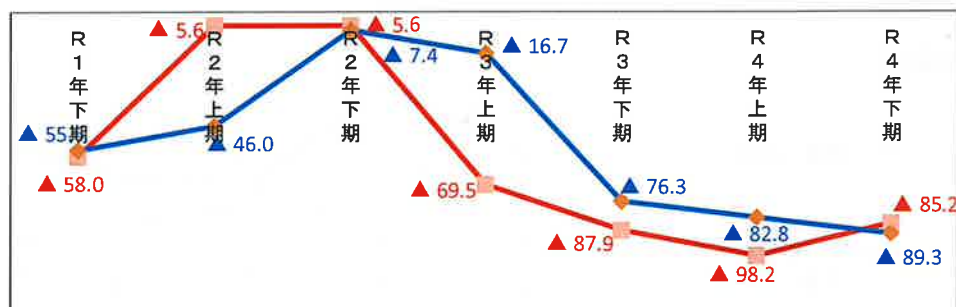
仕入単価DI値は、製造業で▲85.2(前期比13.0)、非製造業▲74.8(前期比▲2.3)、全業種で▲77.9(前期比2.8)となった。全業種でマイナス値となり、非製造業では、サービス業、その他業で今期、前期比ともマイナス値となり、今期も仕入単価上昇による影響が継続している結果となった。

※前期比とは、前回調査(令和4年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

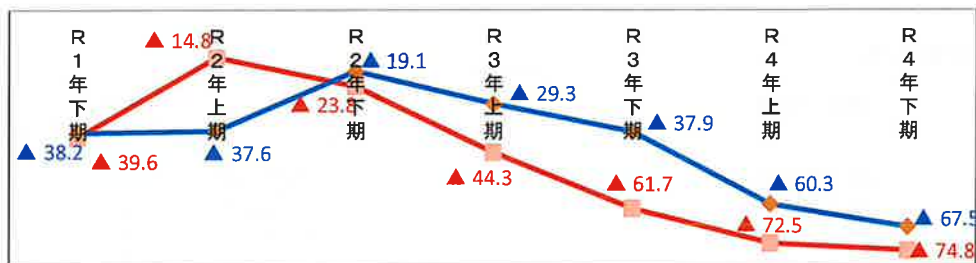
製造業

—●— 実際のDI値
—●— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

—●— 実際のDI値
—●— 前期調査時点での今期見通し



来期(2023年1月～6月)の見通しDI値

(仕入単価)

(単位:%)

全業種	(見通し ▲68.5	今期比 9.4)
製造業	(見通し ▲63.0	今期比 22.2)
非製造業	(見通し ▲70.9	今期比 3.9)
建設業	(見通し ▲82.4	今期比 11.8)
小売業	(見通し ▲60.0	今期比 10.0)
卸売業	(見通し ▲72.4	今期比 6.9)
サービス業	(見通し ▲74.5	今期比 ▲4.3)
その他業	(見通し ▲57.1	今期比 7.1)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

今期と比較した来期(2023年1月～6月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で22.2ポイント改善の▲63.0、非製造業で3.9ポイント改善の▲70.9、全業種で9.4ポイント改善の▲68.5と見通している。製造業、非製造業のサービス業を除き今期比でプラスとなるも、見通しは全業種でマイナスとなり、今後も仕入単価の上昇による悪化傾向が続く非常に厳しい見通しとなった。

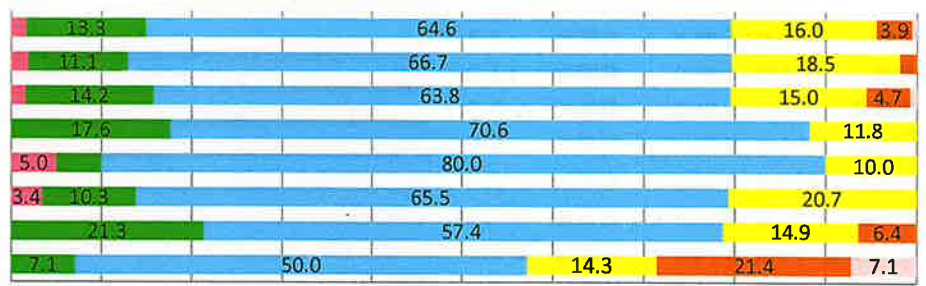
【 従業員数DI値 】

今期(2022年7月～12月)のDI値

全業種	(今期 ▲ 5.0 前期比 ▲ 10.7)
製造業	(今期 ▲ 7.4 前期比 ▲ 12.8)
非製造業	(今期 ▲ 3.9 前期比 ▲ 9.7)
建設業	(今期 5.9 前期比 ▲ 29.1)
小売業	(今期 0.0 前期比 23.8)
卸売業	(今期 ▲ 6.9 前期比 ▲ 20.5)
サービス業	(今期 0.0 前期比 ▲ 15.0)
その他業	(今期 ▲ 28.6 前期比 ▲ 5.1)

(従業員数)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

今期(2022年7月～12月)の状況

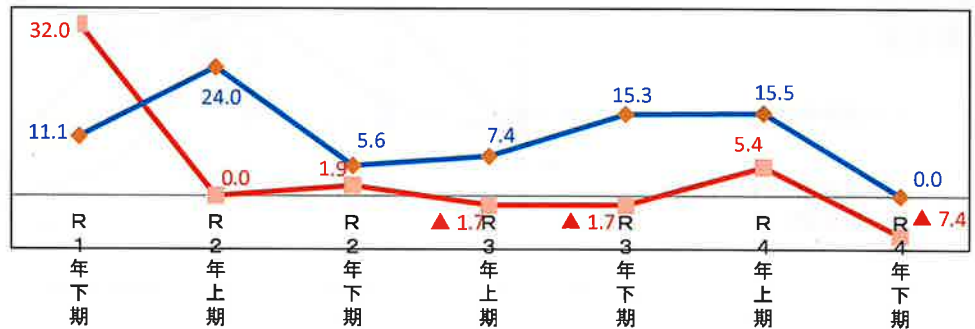
従業員数DI値は、製造業で▲7.4(前期比▲12.8)、非製造業で▲3.9(前期比▲9.7)、全業種で▲5.0(前期比▲10.7)となった。製造業、非製造業ともマイナスとなり、非製造業では建設業のみプラスとなるも、全体としてマイナスとなり、人手はやや減少傾向であることが伺えた。

※前期比とは、前回調査(令和4年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

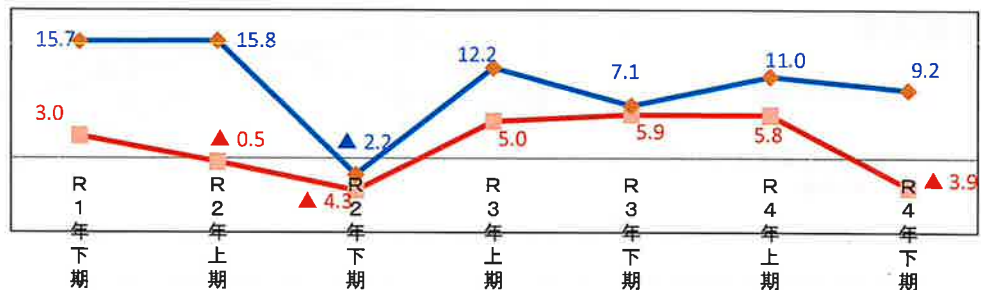
製造業

— 実際のDI値
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値
— 前期調査時点での今期見通し

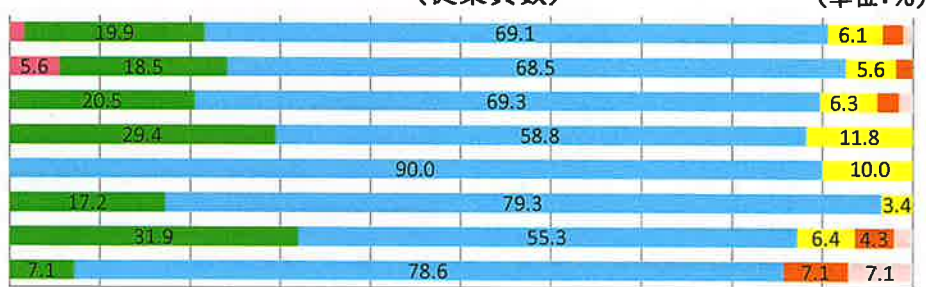


来期(2023年1月～6月)の見通しDI値

全業種	(見通し 13.3 今期比 18.2)
製造業	(見通し 16.7 今期比 24.1)
非製造業	(見通し 11.8 今期比 15.7)
建設業	(見通し 17.6 今期比 11.8)
小売業	(見通し ▲ 10.0 今期比 ▲ 10.0)
卸売業	(見通し 13.8 今期比 20.7)
サービス業	(見通し 21.3 今期比 21.3)
その他業	(見通し 0.0 今期比 28.6)

(従業員数)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

今期と比較した来期(2023年1月～6月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で24.1ポイント上昇の16.7、非製造業で15.7ポイント上昇の11.8、全業種では18.2ポイント上昇の13.3と見通している。全体として来期は増加する見通しとなったが、非製造業のうち小売業のみ減少する見通しとなった。

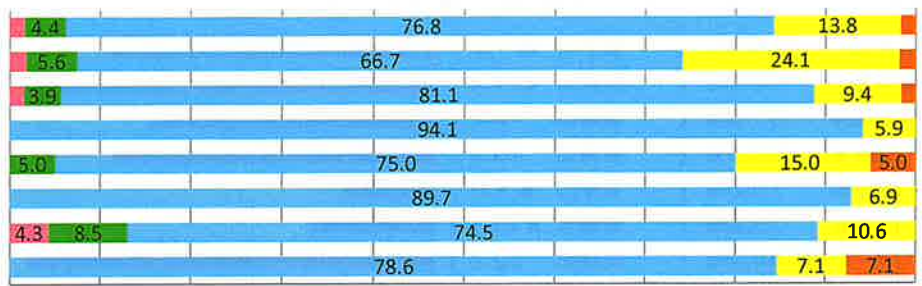
【設備DI値】

今期(2022年7月～12月)のDI値

(設備)

(単位:%)

全業種	(今期 9.4 前期比 ▲3.1)
製造業	(今期 18.5 前期比 16.7)
非製造業	(今期 5.5 前期比 ▲12.0)
建設業	(今期 5.9 前期比 10.9)
小売業	(今期 15.0 前期比 ▲4.0)
卸売業	(今期 6.9 前期比 ▲24.9)
サービス業	(今期 ▲2.1 前期比 ▲19.6)
その他業	(今期 14.3 前期比 ▲9.2)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足

今期(2022年7月～12月)の状況

設備DI値は、製造業で18.5(前期比16.7)、非製造業で5.5(前期比▲12.0)、全業種で9.4(前期比▲3.1)となった。製造業、非製造業では、サービス業を除く全業種でプラスとなり、設備不足の傾向にあることが伺えた。

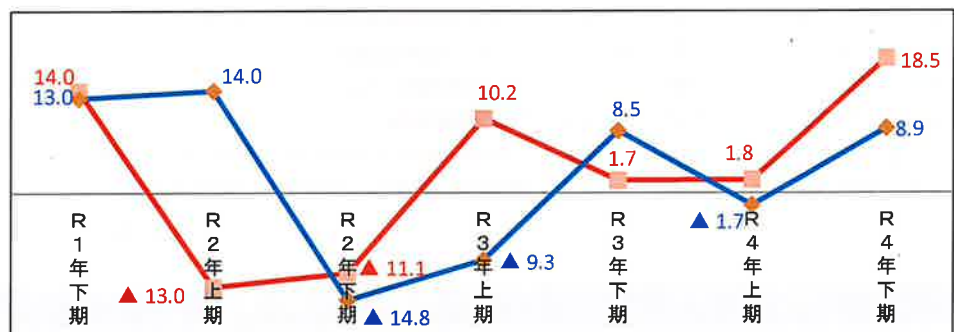
※前期比とは、前回調査(令和4年6月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

■ 実際のDI値

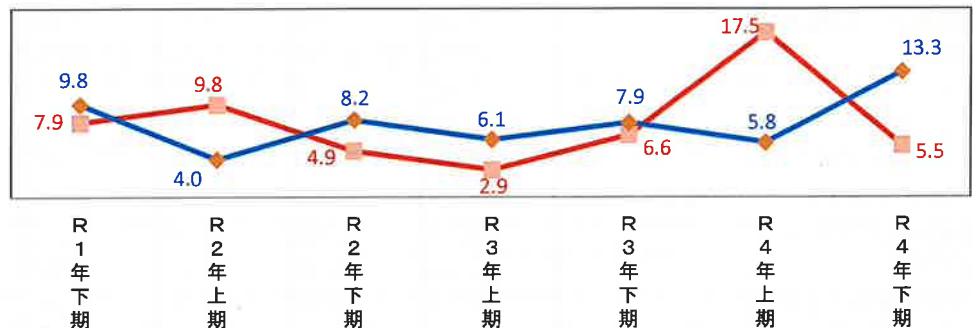
■ 前期調査時点での今期見通し



非製造業

■ 実際のDI値

■ 前期調査時点での今期見通し

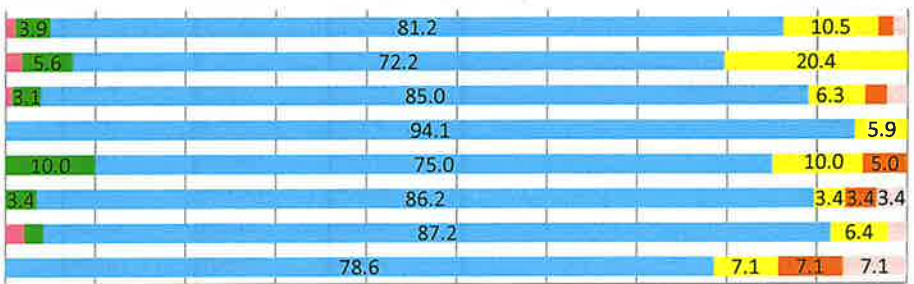


来期(2023年1月～6月)の見通しDI値

(設備)

(単位:%)

全業種	(見通し 7.2 今期比 ▲2.2)
製造業	(見通し 13.0 今期比 ▲5.6)
非製造業	(見通し 4.7 今期比 ▲0.8)
建設業	(見通し 5.9 今期比 0.0)
小売業	(見通し 5.0 今期比 ▲10.0)
卸売業	(見通し 3.4 今期比 ▲3.4)
サービス業	(見通し 2.1 今期比 4.3)
その他業	(見通し 14.3 今期比 0.0)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期と比較した来期(2023年1月～6月)の見通し

今期と比べた来期の見通しDI値は、製造業で▲5.6ポイント低下の13.0、非製造業で▲0.8ポイント低下の4.7、全業種で▲2.2ポイント低下の7.2と見通しており、製造業、非製造業で設備不足の見通しとなり、全業種で設備投資の意向が伺えた。

【 新規設備投資 】

◆今期（2022年7月～12月）の新規設備投資を実施した割合

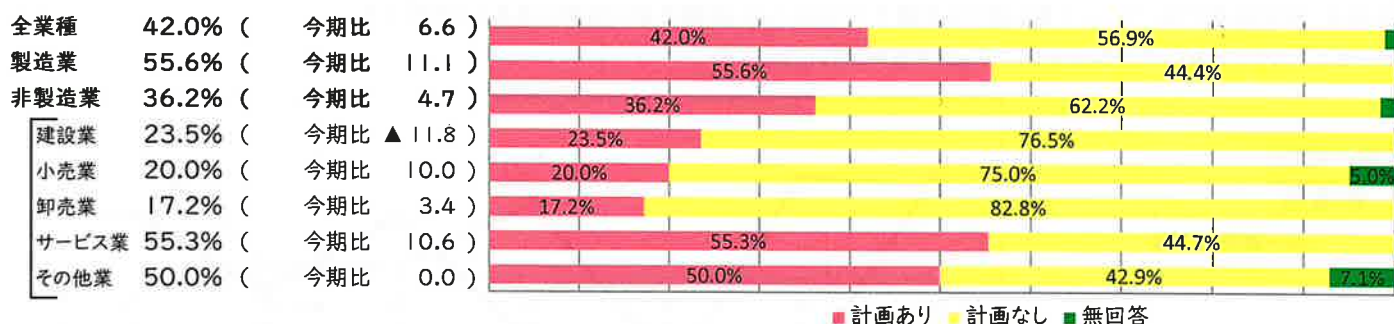


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 行った ■ 行っていない ■ 無回答

※前期比とは、前回調査（令和4年6月実施）のDI値と今期を比較した増減です。

◆来期（2023年1月～6月）の新規設備投資を計画している割合



■ 計画あり ■ 計画なし ■ 無回答

【 直面している課題 】

	製造業	非製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他業
大企業の進出による競争の激化	0.0%	3.9%	5.9%	5.0%	6.9%	2.1%	0.0%
需要の停滞	23.6%	② 25.2%	③ 23.5%	② 30.0%	② 31.0%	21.3%	21.4%
為替差損	5.5%	2.4%	0.0%	0.0%	10.3%	0.0%	0.0%
売上単価の低下	7.3%	7.1%	0.0%	15.0%	0.0%	12.8%	0.0%
新規参入業者の増加	1.8%	4.7%	5.9%	5.0%	3.4%	4.3%	7.1%
製品（消費者・利用者等）ニーズの変化への対応	9.1%	8.7%	0.0%	③ 20.0%	10.3%	8.5%	0.0%
生産設備の不足・老朽化	14.5%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	7.1%
原材料の不足	14.5%	4.7%	17.6%	5.0%	3.4%	2.1%	0.0%
仕入・原材料単価の上昇	① 70.9%	① 39.4%	① 76.5%	① 35.0%	① 41.4%	① 31.9%	21.4%
下請負単価の上昇	0.0%	3.1%	11.8%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%
官公需要の停滞	1.8%	3.9%	5.9%	0.0%	3.4%	6.4%	0.0%
取引条件の悪化	3.6%	4.7%	5.9%	5.0%	6.9%	4.3%	0.0%
金利負担の増加	0.0%	0.8%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業資金の借入難	0.0%	6.3%	11.8%	5.0%	3.4%	6.4%	7.1%
購買力の他地域への流出	0.0%	1.6%	0.0%	5.0%	3.4%	0.0%	0.0%
在庫の過剰	5.5%	1.6%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
価格への転嫁難	23.6%	15.7%	11.8%	15.0%	17.2%	12.8%	② 28.6%
人件費の増加	16.4%	22.0%	11.8%	15.0%	13.8%	① 31.9%	② 28.6%
設備の過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
代金回収の悪化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
駐車場の確保難	0.0%	1.6%	5.9%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%
店舗・施設の老朽化	3.6%	7.1%	0.0%	10.0%	3.4%	12.8%	0.0%
従業員・熟練技術者の確保難	② 29.1%	22.0%	② 35.3%	③ 20.0%	17.2%	③ 27.7%	0.0%
燃料費（電気料金を含む）の高騰	③ 27.3%	③ 23.6%	11.8%	③ 20.0%	③ 20.7%	21.3%	① 57.1%
コロナの影響	7.3%	19.7%	11.8%	15.0%	10.3%	③ 27.7%	② 28.6%
その他	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	14.3%

参考資料

小規模事業者（従業員：製造業・建設業は20人以下、商業・サービス業等は5人以下）

※宿泊業および娯楽業は20人以下

景況調査結果

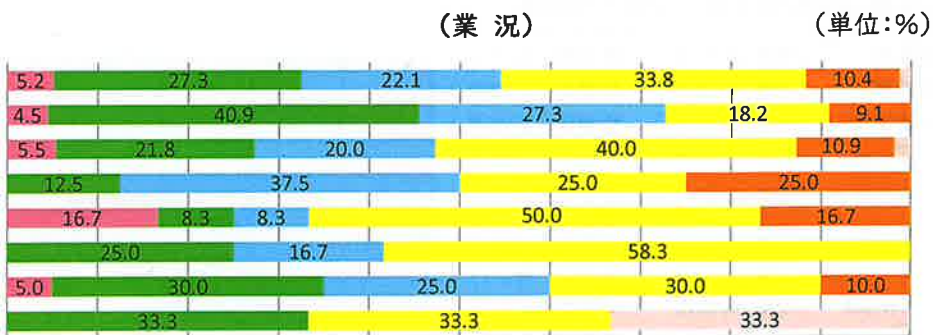
- 目的：当地域における景気実態を把握するとともに、当商工会議所事業活動の指針とする。
- 調査対象期間：2022年7月1日から2022年12月31日（2022年（令和4年）下期）
- 調査実施期間：2022年12月26日から2023年1月31日
- 調査方法：郵送によるアンケート方式
- 調査対象：当所管内会員事業所の小規模企業者（従業員数が製造業・建設業は20人以下、商業・サービス業等は5人以下） 335 事業所 ※宿泊業および娯楽業は20人以下
- 回答数：77（回答率 23.0%）

従業員数		0～5人	6～20人	合計
業種	製造業	7	15	22
	建設業	2	6	8
	小売業	12		12
	卸売業	12		12
	サービス業	19	1	20
	その他業	3		3
合計		55	22	77

業況DI

今期（2022年7月～12月）のDI値

業種	今期	前期比
全業種	▲ 11.7	0.1
製造業	▲ 18.2	18.2
非製造業	▲ 23.6	▲ 6.6
建設業	▲ 37.5	▲ 1.1
小売業	▲ 41.7	▲ 23.5
卸売業	▲ 33.3	46.7
サービス業	▲ 5.0	▲ 26.4
その他業	0.0	16.7



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

来期（2023年1月～6月）の見通しDI値

業種	来期	今期比
全業種	▲ 13.0	▲ 1.3
製造業	▲ 18.2	▲ 36.4
非製造業	▲ 10.9	12.7
建設業	▲ 37.5	0.0
小売業	▲ 25.0	16.7
卸売業	▲ 41.7	▲ 8.3
サービス業	20.0	25.0
その他業	33.3	33.3



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

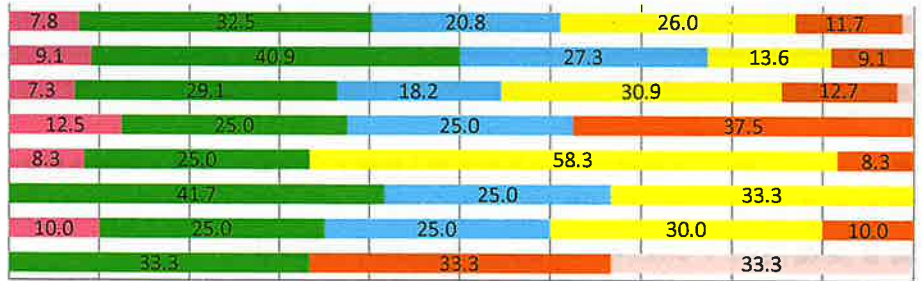
売上DI

今期(2022年7月~12月)のDI値

(売上)

(単位:%)

全業種	(今期 2.6	前期比 1.1)
製造業	(今期 27.3	前期比 22.5)
非製造業	(今期 ▲7.3	前期比 ▲7.3)
建設業	(今期 0.0	前期比 9.1)
小売業	(今期 ▲33.3	前期比 ▲15.1)
卸売業	(今期 8.3	前期比 48.3)
サービス業	(今期 ▲5.0	前期比 ▲40.7)
その他業	(今期 0.0	前期比 0.0)

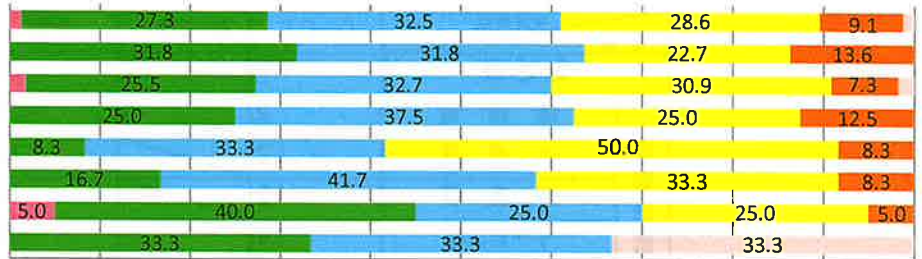


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■増加 ■やや増加 ■不変 ■やや減少 ■減少 ■無回答

来期(2023年1月~6月)の見通しDI値

全業種	(来期 ▲9.1	今期比 ▲11.7)
製造業	(来期 ▲4.5	今期比 ▲31.8)
非製造業	(来期 ▲10.9	今期比 ▲3.6)
建設業	(来期 ▲12.5	今期比 ▲12.5)
小売業	(来期 ▲50.0	今期比 ▲16.7)
卸売業	(来期 ▲25.0	今期比 ▲33.3)
サービス業	(来期 15.0	今期比 20.0)
その他業	(来期 33.3	今期比 33.3)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■増加 ■やや増加 ■不変 ■やや減少 ■減少 ■無回答

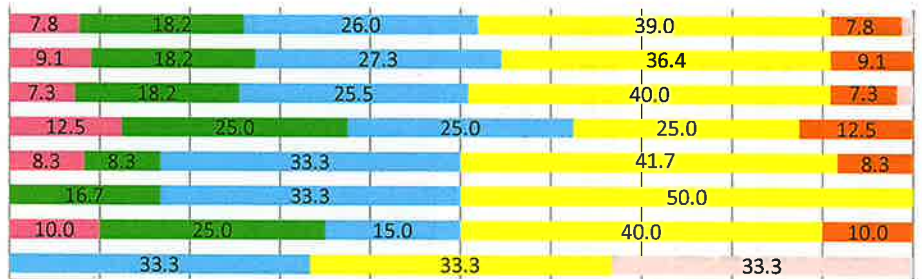
採算DI

今期(2022年7月~12月)のDI値

(採算)

(単位:%)

全業種	(今期 ▲20.8	前期比 ▲9.0)
製造業	(今期 ▲18.2	前期比 ▲23.0)
非製造業	(今期 ▲21.8	前期比 ▲2.7)
建設業	(今期 0.0	前期比 27.3)
小売業	(今期 ▲33.3	前期比 ▲6.0)
卸売業	(今期 ▲33.3	前期比 26.7)
サービス業	(今期 ▲15.0	前期比 ▲7.9)
その他業	(今期 ▲33.3	前期比 ▲50.0)

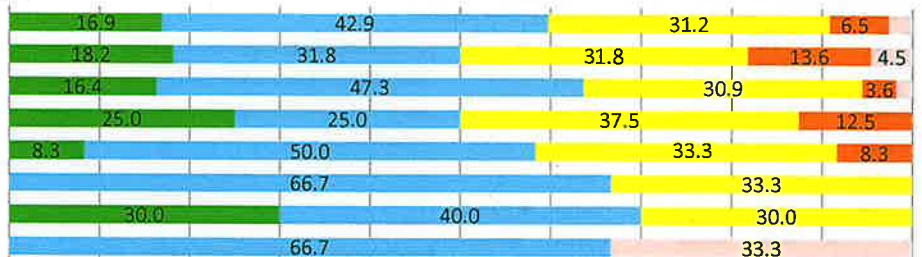


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

来期(2023年1月~6月)の見通しDI値

全業種	(来期 ▲20.8	今期比 0.0)
製造業	(来期 ▲27.3	今期比 ▲9.1)
非製造業	(来期 ▲18.2	今期比 3.6)
建設業	(来期 ▲25.0	今期比 ▲25.0)
小売業	(来期 ▲33.3	今期比 0.0)
卸売業	(来期 ▲33.3	今期比 0.0)
サービス業	(来期 0.0	今期比 15.0)
その他業	(来期 0.0	今期比 33.3)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

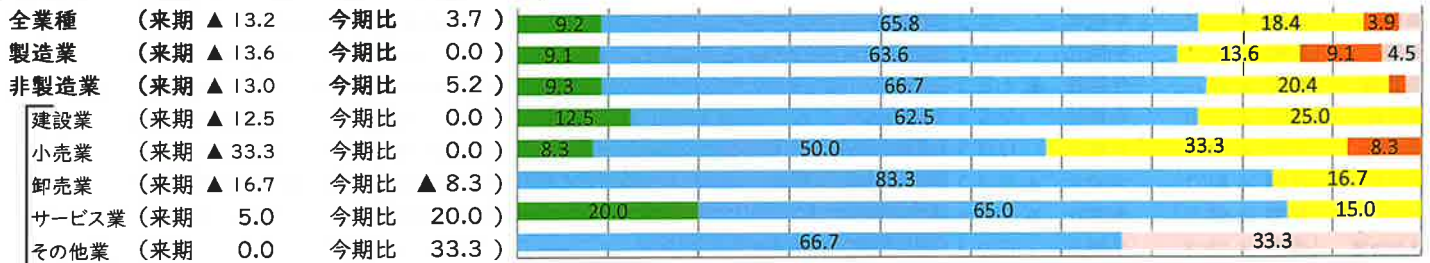
今期(2022年7月～12月)のDI値

(資金繰り)

(単位:%)



来期(2023年1月～6月)の見通しDI値



在庫DI

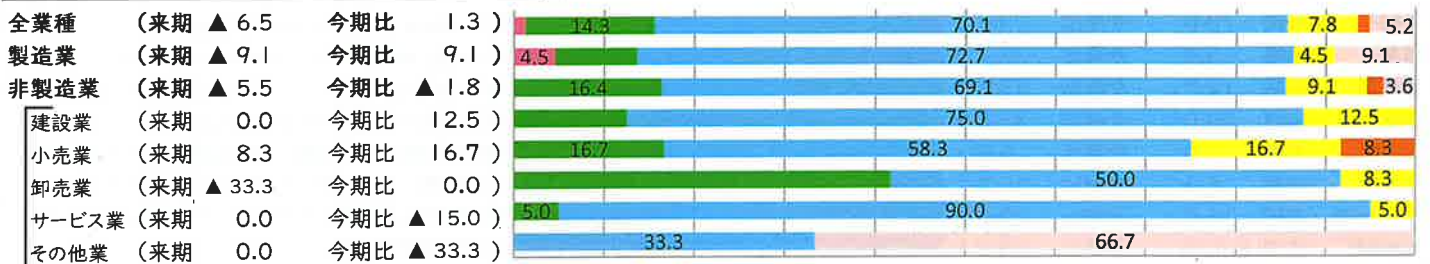
今期(2022年7月～12月)のDI値

(在庫)

(単位:%)



来期(2023年1月～6月)の見通しDI値



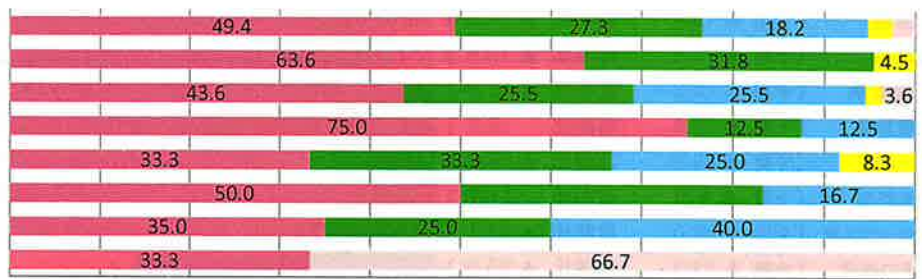
仕入単価DI

今期(2022年7月~12月)のDI値

(仕入単価)

(単位:%)

全業種	(今期 ▲ 74.0	前期比 ▲ 0.5)
製造業	(今期 ▲ 90.9	前期比 4.3)
非製造業	(今期 ▲ 67.3	前期比 ▲ 3.5)
建設業	(今期 ▲ 87.5	前期比 3.4)
小売業	(今期 ▲ 58.3	前期比 5.3)
卸売業	(今期 ▲ 83.3	前期比 ▲ 3.3)
サービス業	(今期 ▲ 60.0	前期比 4.3)
その他業	(今期 ▲ 33.3	前期比 ▲ 33.3)

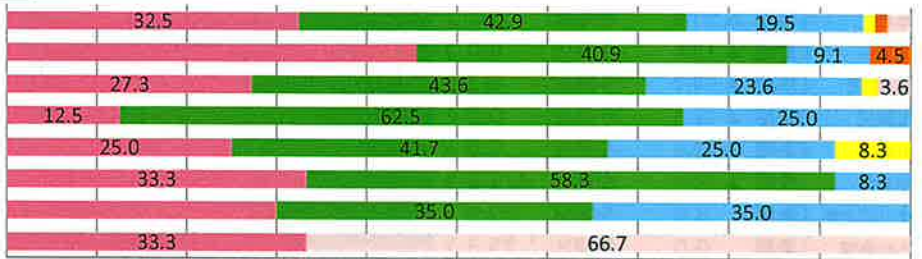


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

来期(2023年1月~6月)の見通しDI値

全業種	(来期 ▲ 72.7	今期比 1.3)
製造業	(来期 ▲ 81.8	今期比 9.1)
非製造業	(来期 ▲ 69.1	今期比 ▲ 1.8)
建設業	(来期 ▲ 75.0	今期比 12.5)
小売業	(来期 ▲ 58.3	今期比 0.0)
卸売業	(来期 ▲ 91.7	今期比 ▲ 8.3)
サービス業	(来期 ▲ 65.0	今期比 ▲ 5.0)
その他業	(来期 ▲ 33.3	今期比 0.0)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

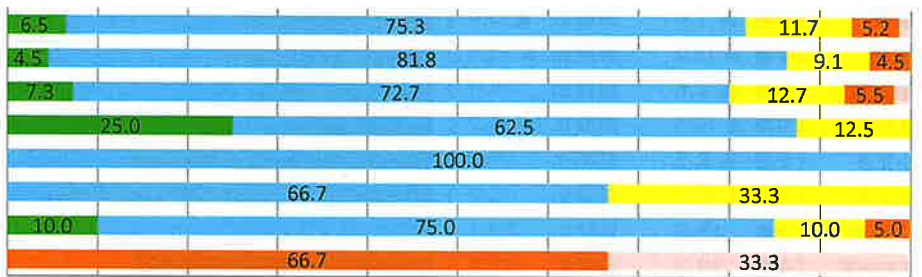
従業員数DI

今期(2022年7月~12月)のDI値

(従業員数)

(単位:%)

全業種	(今期 ▲ 10.4	前期比 ▲ 14.8)
製造業	(今期 ▲ 9.1	前期比 ▲ 4.3)
非製造業	(今期 ▲ 10.9	前期比 ▲ 19.4)
建設業	(今期 12.5	前期比 ▲ 14.8)
小売業	(今期 0.0	前期比 0.0)
卸売業	(今期 ▲ 33.3	前期比 ▲ 13.3)
サービス業	(今期 ▲ 5.0	前期比 ▲ 19.3)
その他業	(今期 ▲ 66.7	前期比 ▲ 66.7)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

来期(2023年1月~6月)の見通しDI値

全業種	(来期 13.0	今期比 23.4)
製造業	(来期 13.6	今期比 22.7)
非製造業	(来期 12.7	今期比 23.6)
建設業	(来期 50.0	今期比 37.5)
小売業	(来期 0.0	今期比 0.0)
卸売業	(来期 8.3	今期比 41.7)
サービス業	(来期 15.0	今期比 20.0)
その他業	(来期 ▲ 33.3	今期比 33.3)



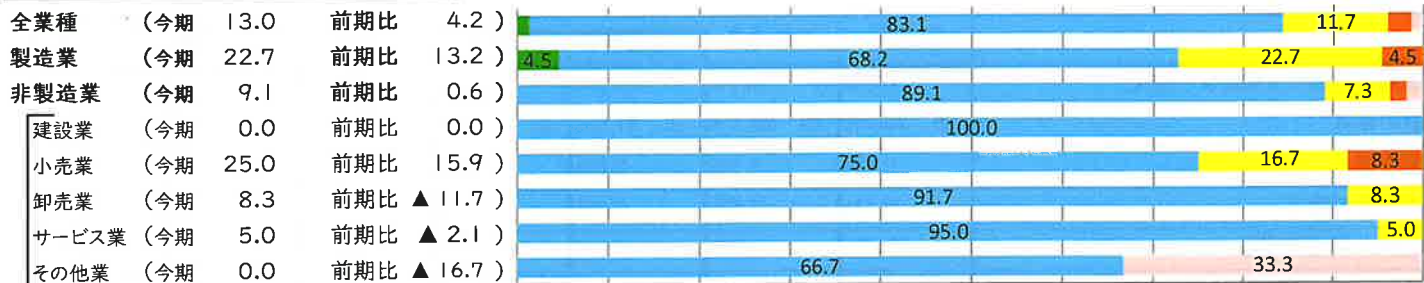
※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

今期(2022年7月～12月)のDI値

(設備)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

来期(2023年1月～6月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

新規設備投資

◆今期(2022年7月～12月)の新規設備投資を実施した割合



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 行った ■ 行っていない ■ 無回答

◆来期(2023年1月～6月)の新規設備投資を計画している割合



■ 計画あり ■ 計画なし ■ 無回答

直面している課題

	製造業	非製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他業
大企業の進出による競争の激化	0.0%	4.7%	12.5%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%
需要の停滞	② 22.7%	② 28.1%	② 37.5%	① 33.3%	② 33.3%	③ 35.0%	0.0%
為替差損	0.0%	4.7%	0.0%	0.0%	③ 25.0%	0.0%	0.0%
売上単価の低下	9.1%	7.8%	0.0%	16.7%	0.0%	15.0%	0.0%
新規参入業者の増加	0.0%	4.7%	0.0%	8.3%	8.3%	0.0%	② 33.3%
製品(消費者・利用者等)ニーズの変化への対応	4.5%	4.7%	0.0%	8.3%	16.7%	0.0%	0.0%
生産設備の不足・老朽化	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
原材料の不足	18.2%	4.7%	12.5%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%
仕入・原材料単価の上昇	① 81.8%	① 40.6%	① 75.0%	① 33.3%	① 58.3%	① 40.0%	② 33.3%
下請負単価の上昇	0.0%	3.1%	12.5%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%
官公需要の停滞	4.5%	6.3%	12.5%	0.0%	0.0%	15.0%	0.0%
取引条件の悪化	0.0%	4.7%	12.5%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%
金利負担の増加	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業資金の借入難	0.0%	7.8%	25.0%	8.3%	8.3%	5.0%	0.0%
購買力の他地域への流出	0.0%	3.1%	0.0%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%
在庫の過剰	4.5%	3.1%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
価格への転嫁難	13.6%	14.1%	12.5%	8.3%	16.7%	20.0%	② 33.3%
人件費の増加	13.6%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	③ 35.0%	0.0%
設備の過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
代金回収の悪化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
駐車場の確保難	0.0%	1.6%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
店舗・施設の老朽化	0.0%	4.7%	0.0%	8.3%	0.0%	10.0%	0.0%
従業員・熟練技術者の確保難	② 22.7%	12.5%	② 37.5%	16.7%	8.3%	10.0%	0.0%
燃料費(電気料金を含む)の高騰	13.6%	12.5%	12.5%	8.3%	8.3%	15.0%	① 66.7%
コロナの影響	4.5%	③ 20.3%	0.0%	16.7%	16.7%	① 40.0%	② 33.3%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%